

目指せ、横手やきそば職人 来月、暖簾会が養成講座



横手市の地元グルメ・横手やきそばを県内外のイベントでPRする「横手やきそば職人」の養成講座が3月4~6日、同市鍛冶町の顧客利便施設こうじ庵で開かれる。市内やきそば店や製麺業者らでつくる「横手やきそば暖簾(のれん)会」(三浦勝則理事長)のメンバーが、横手やきそばの歴史や調理方法などを指導する。2月24日まで参加者を募集している。

職人は暖簾会が認定し、横手やきそばを通じたまちおこしや、市の魅力発信に取り組む。養成講座は20年ほど前から数年おきに開かれており、これまで5回の講座で計48人が認定された。しかし高齢化などを背景に、現在活動しているのは24人にとどまる。暖簾会は職人を増やし、組織体制強化を図りたい考え。

参加資格は、イベントなどに参加可能な市在住の18歳以上で、性別は問わない。講座は各日午前9時~午後4時。受講料3千円。

暖簾会の事務局を務める市観光おもてなし課は「新たな職人誕生により、県内外のイベントに出店する機会を増やし、横手市と横手やきそばの知名度アップにつなげたい」としている。

申し込み、問い合わせは同課 ☎ 0182・32・2118(梅川正城)

(令和8年2月2日(月) 秋田さきがけ新聞から一部抜粋)